

令和元年度 事業報告

社会福祉法人 まほろば福社会

令和元年度 法人本部事業報告書

1 法人運営

(1) 登記

- ①代表者変更登記（令和元年7月8日）
- ②資産変更登記（令和元年6月27日）
- ③定款変更登記（令和元年6月13日、令和元年7月29日）

(2) 永年勤続表彰

- ・ 正規職員3名、非常勤職員4名

(3) 監事監査

- ・ 令和元年5月27日実施

(4) 法人内研修

- ・ 防犯対策等研修（講師：NPO法人宮崎県防犯設備士協会）
- ・ リスクマネジメント研修（講師：ハーモニーライフサポート）

(5) 指導監査

- ・ 宮崎県社会福祉法人指導監査（宮崎県指導監査・援護課）受検

(6) 寄附金

- ・ 株式会社 宮崎ユニット工業 様（金500,000円）

(7) ほっとすてーしょん翼建替え工事

理事会、評議員会において、基本設計等についての承認を頂き、着工に向けて準備を進めてきた。また、同時に隣接地の造成工事及び庭園工事に着手し、3月末に工事完了した。造成工事等の着工にあたり、跡江地区自治会役員及び地区住民へ施設建替えについて説明し、建設工事並びに工事車両の通行についてご理解を頂いた。

行政関係については、既存建物が補助財産であるため、財産処分の申請を行い、県知事より財産処分承認通知書を受理した。また、跡江地区が市街化調整区域のため、建設にあたり宮崎市開発指導課と引き続き協議を進めている。

2 会議等

○理事会（開催6回、書面審議1回）

- ①令和元年6月7日（出席者 理事6名、監事2名）
 - ・ 平成30年度事業報告並びに収支決算について
 - ・ 第15期役員について
 - ・ 諸規程の改定及び制定について
 - ・ 定款変更について

- ・ 土地取得について
- ・ 定時評議員会開催及び提出議題について

②令和元年6月25日（出席者 理事6名、監事2名）

- ・ 理事長の選任について
- ・ 常務理事（業務執行理事）の選任について

③令和元年9月6日（出席者 理事6名、監事2名）

- ・ 法律顧問契約書の締結について
- ・ Yumeハウスやじろべえ事業転換について
- ・ 諸規程の変更について
- ・ 評議員会開催及び提出議題について

④令和元年12月13日（出席者 理事5名、監事2名）

- ・ ほっとすてーしょん翼建替え基本設計の承認について

⑤令和2年2月19日（出席者 理事6名、監事2名）

- ・ 綾外科購入について
- ・ 諸規程の制定について

⑥令和2年3月5日（出席者 理事6名、監事2名）

- ・ 令和元年度補正予算について
- ・ 令和2年度事業計画並びに収支予算について
- ・ ほっとすてーしょん翼建替え工事に伴う資金計画並びに一般競争入札参加業者の選定について
- ・ 諸規程の改訂について
- ・ 宮崎県指導監査、宮崎市指導監査及び実地指導改善報告について
- ・ 人事異動について
- ・ 評議員会開催及び提出議題について

●書面審議（令和元年7月30日）

- ・ 法人所有地分筆、譲渡について
- ・ 定款変更について

○評議員会（開催2回、書面審議2回）

①令和元年6月25日（出席者 評議員6名、理事4名、監事1名）

- ・ 平成30年度事業報告並びに収支決算について
- ・ 第15期役員について
- ・ 定款変更について
- ・ 土地取得について

②令和元年9月20日（出席者 評議員6名、理事3名）

- ・ Yumeハウスやじろべえ事業転換について

●書面審議（令和元年8月7日）

- ・ 法人所有地分筆、譲渡について
- ・ 定款変更について

●書面審議（令和2年3月24日）

- ・ 令和元年度補正予算について
- ・ 令和2年度事業計画並びに収支予算について
- ・ ほっとすてーしょん翼建替え工事に伴う資金計画並びに一般競争入札参加業者の選定について
- ・ 宮崎県指導監査、宮崎市指導監査及び実地指導改善報告について

3 職員構成

①正規職員採用 0名

②正規職員退職 1名

③職員構成（令和2年4月1日）

正規職員 75名、嘱託職員 5名、契約職員 18名、非常勤職員 36名、
登録ヘルパー48名 合計 183名

4 決算書（別添）

令和元年度 やじろべえ 事業報告書

1. 施設の利用状況

- (1) 就労移行支援事業（定員 6 名） ● 目標 一日平均 2.0 人

項目 \ 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度
一日平均利用者数	1.2 人	0 人	1.3 人
利用率	20.3 %	0 %	21.7 %
延べ利用者数	320 人	0 人	343 人

令和 2 年 3 月 31 日をもって休止。

- (2) 就労継続支援（B 型）事業（定員 34 名） ● 目標 一日平均 36.0 人

項目 \ 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度
一日平均利用者数	36.8 人	36.3 人	39.9 人
利用率	108.2 %	106.8 %	117.4 %
延べ利用者数	9,673 人	9,514 人	10,493 人

新規利用者 8 人。退所者 4 人。3 月 31 日末の登録者は 52 人。

- (3) 共同生活援助事業（定員 5 名）⇒シェアハウス（定員 5 名）

項目 \ 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度
1 日平均入居者数	4.6 人	4.1 人	4.3 人
入居率	93.0 %	81.4 %	86.2 %
外泊日数	3 日	3 日	7 日
入院日数	4 日	180 日	0 日
空床日数	121 日	155 日	252 日

10 月 31 日をもって共同生活援助事業を廃止し、11 月 1 日よりシェアハウスとして運用開始。
新規利用者が 12 月に入居し満床となった。

- (4) 居宅介護事業等

項目 \ 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度
居宅介護 延べ利用者数	—	—	719 人
重度訪問介護 延べ利用者数	—	—	0 人
	—	—	— 人

居宅介護事業、重度訪問介護事業の指定を 8 月 1 日に受け、11 月 1 日より運用を開始した。

2. 給付費の状況

(1) ワークステーションやじろべえ

科目	事業名	H29年度	H30年度	R元年度	前年比
給付費収入	就労移行支援	2,970,020	0	1,968,790	0%
	就労継続支援(B型)	77,344,750	70,240,956	78,747,410	112.1%
利用者負担金収入	就労移行・継続B型	2,781,120	2,697,580	3,362,130	124.6%
合計		80,314,770	72,938,536	84,078,330	115.3%

- ◎増収要因 ① 新規利用者の受け入れ及び利用率の向上
 ② 福祉・介護職員等特定処遇改善加算分

(2) Yumeハウスやじろべえ及びヘルパーステーションやじろべえ

科目	事業名	年度		R元年度	前年比
		H29年度	H30年度		
給付費収入	共同生活援助	10,018,950	8,651,200	12,243,730	141.5%
利用者負担金・賃借料収入	※R1.11月～居宅介護	2,413,321	2,133,179	1,839,228	86.2%
合計		12,432,271	10,784,379	14,082,958	130.6%

3. 一般就労等の実績

(1) 一般就労 0人

(2) 定着支援 3人 ※平成18年10月以降15名が就職、3名が雇用継続中

就労移行支援事業休止後も引き続き、業務上における個々の課題（入職後、1年後、3年後、5年後など）に応じた支援や生活面における相談支援など本人が安心して働けるように継続してサポートをしていく。

- ホテルルートイン宮崎（H23.4.11～）
- デル(株)カスタマーセンター宮崎（H24.7.1～）
- (株)エポックジャパン（H27.6.1～）

4. 工賃向上の取り組み

(1) 印刷事業と請負事業の受注拡大を目指す取り組み

① 一般印刷事業

- ・ オンデマンド印刷機のフル活用によって、カラー印刷における外注費の抑制につなげた。
- ・ 今年度も「障害者優先調達推進法」により、宮崎県、宮崎労働局、ポリテクセンター宮崎、県立博物館、宮崎県社協、宮崎西高校などから受注した。
- ・ 特に年度末の各種総会、大会等のイベント冊子などの受注が新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったものがあった。
- ・ 近年の課題であった機械類の更新で、30年近く経過した断裁機が故障したため買い替えを行った。今後は、購入から20数年以上経過した印刷機の更新が必要となる。



断裁機

② 特殊印刷事業

- ・ 4年目となった全国身障協の「熊本地震復興支援事業」のTシャツプリントは、売り上げが年々減少しているが、シルク印刷機の活用（内製化）により、外注費を抑制し、利益率を向上させることができた。
- ・ カラープリントのニーズに対応するために導入したインクジェットプリンターは、機械の故障により人気色である白インクでのプリントができない状況が一昨年度より続いている。ランニングコストが高額で利益率が低いため、インクジェットプリンターにかわる転写プリント等の導入を検討したい。

③ 請負事業

- 中邨農園…きゅうり、日向夏、ピーマンの選別・袋詰め作業
- リンガーハット宮崎大塚店…駐車場等の除草・清掃作業
- ビックリサイクル…トレーディングカードの仕分け作業
- ・ 「中邨農園（旧ローソンファーム宮崎）」のきゅうりについては、中邨農園がローソンファームからの撤退ということもあり委託量がかなり減った。
- ・ 夏場の閑散期対策として新たに請け負ったピーマンの選別、箱詰め作業は、大きな問題もなく取り組むことができた。
- ・ クレームを減らすための取り組みとして、職員及びリーダー（利用者）で製品のチェックを行っている。また、言葉や文字での理解が難しい利用者へは「説明用ボード」や、障害の状況に合わせた選別用自助具を作成して行っている。
- ・ ピーマンの選別・箱詰め作業のほか、閑散期における作業、重い障害を持たれる方でもあたる作業などを各所へあたってみたが、個々の状況に合う作業が見つからなかった。利益率の高い新たな作業が確保できるよう今後も営業活動等に力を注いでいく。



きゅうりの選別・袋詰め作業



日向夏の選別・袋詰め作



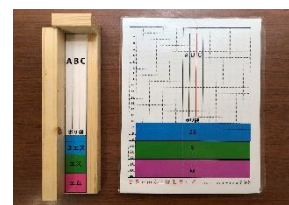
ピーマンの選別・箱詰め作業



リンガーハット清掃作業



トレーディングカード選別作業



きゅうり選別用自助具

■就労支援事業収入内訳

項目	H29年度	H30年度	R元年度	前年対比
印刷収入	18,793,627円	20,276,973	16,199,336	79.9%
特殊印刷収入	12,336,026円	9,266,435	7,830,836	84.5%
受託収入	1,544,435円	1,081,807	552,953	51.1%
合計	32,674,088円	30,625,215	24,583,125	80.3%

(2) 工賃支給状況

就労支援事業収入が減少するなか、平均工賃月額は+1,003円の21,791円となり、昨年度と比較すると微増した。これは印刷及び特殊印刷の内製化への取り組みによる結果である。

目標工賃額の24,000円を達成させるために、内製化（外注費を抑制）をさらに図りながら積極的な営業活動で受注量も増やしていく。

項目	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度
平均月額	18,096円	21,069円	22,016円	23,543円	20,788円	21,791円
時給換算	238円	273円	276円	300円	298円	308円
総支給額	8,993,900円	10,850,545円	12,196,767円	13,207,830円	11,454,070円	12,769,545円
総就労時間数	37,733h	39,790h	44,047h	43,972h	38,402h	41,519h
延べ支給人数	497人	515人	554人	561人	551人	586人

対前年比で総支給額が+1,315,475円、総就労時間数は+3,117時間、延べ人数は+35人であった。

5. 防災関係

ワークステーションやじろべえでは年2回の総合防災訓練のほかに、起震車体験、AED操作訓練や水消火器での消火訓練、DVDを用いた防災教育などを実施した。

Yumeハウスやじろべえでも、地震や火災時の避難訓練（夜間想定含む）を2回実施した。今後は、毎年各地で発生している水害や不審者対応等の訓練も実施したい。

- 防犯対策機器類…防犯カメラ（屋内外）、非常通報装置、センサーライト（玄関）、さすまた
- 委託警備会社…九州ガードシステム（緊急通報システム含む）
- Yumeハウスやじろべえバックアップ施設…ワークステーションやじろべえ

6. 研修関係

- 施設内研修…随時
- 就労関係…宮崎県社会就労センター職員研修会、九州社会就労センター研究大会
宮崎県工賃向上全体研修
- 利用者支援関係…宮崎県社会就労センター職員研修会、九州社会就労センター研究大会
- 虐待防止関係…宮崎市出前講座、人権啓発研修、人権担当者養成講座
- その他…防犯対策等研修、リスクマネジメント研修、安全運転管理者等講習
交通安全マナ板講座、会計研修、自己研鑽研修（介護福祉士実務者研修）

7. 行事関係

日付	内容	日付	内容
6月6～7日	Yumeハウスやじろべえ一泊旅行（熊本）	10月18日～	職員健康診断(いきめ大腸肛門外科内科) インフルエンザ予防注射接種
6月21日（金）	スポーツレクリエーション	11月2日（土）	園外行事：デモンデマルシェ
7月6日（土）	アビリンピック	12月20日（金）	クリスマス会
7月26日（金）	やじろべえ祭り	12月26日（水）	もちつき
8月23日（金）	法人納涼祭	1月6日（月）	初詣：一ツ葉稲荷神社
9月2日～	利用者健康診断（県健康づくり協会）	2月20日（金）	芋煮会
10月13日（日）	祭り大塚（辞退）	3月27日（勤）	施設内花見

8. 決算状況（別添決算書参照）

令和元年度 ほっとすてーしょん翼 事業報告

1. 概要

(1) 危機管理の取り組み

危機管理の取り組みとして、BCP（事業継続計画）策定のための研修への参加や非常食（アルファ化米）の調理実習、医療的ケアやAEDの取扱いについての研修を行った。

また、「ほっとすてーしょん翼 BCP（事業継続計画）」及び「感染症マニュアル」の見直しを行い、9月に職員へ周知を図るための研修を実施した。

しかし、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、必要な物品調達が困難な状況となっていること等から、再度マニュアル等を見直す必要性を痛感している。今後は「防疫」についても検討し、BCP（事業継続計画）へ追加する必要がある。

(2) 権利擁護に関する取り組み

ケアの標準化及び質の担保を図るために、介護マニュアル、コミュニケーションマニュアルの再確認及び周知を行った。また、ヒューマンライツ委員会を中心として、職員に対して虐待防止に関するアンケートの実施やインシデント・アクシデント報告の検証、事例を元にしたグループワークでの研修を実施、支援の見直しに努めた。

(3) 福祉機器の導入・活用について

利用者の安心・安全、職員の介護負担軽減を目的として年間を通して下記の福祉機器を購入した。また、ノーリフトケアの定着を図るため移乗用リフト、スマイルシートの活用方法の研修を実施した。

	福祉機器・備品	数量
1	特殊浴槽	1
2	スマイルシート	14

2. 事業の状況

(1) 入所

① 入退所状況

- ・ 入退所者はなし。

② 利用実績

- ・ 1日平均利用者数 31.5名。
- ・ 入院については、前年度と比較すると延べ入院者数及び延べ入院日数は増加した。
- ・ 利用者の高齢化、重度化とともにご家族の高齢化による介護力の低下、また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月より外泊自粛をお願いしたことに伴い、外泊日数が減少した。

③ 医療的ケアを必要とする利用者の増加

- ・ 高齢化・重度化により、誤嚥性肺炎、尿路感染で入院をされる利用者や医療的ケアが必要な利用者（胃ろう 1 名、留置カテーテル 1 名）が増加した。また、医療的ケア（経管栄養、カテーテル等）に関する受診及び処置が必要な利用者が増えている。

○施設の利用状況（定員 32 名）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
1 日平均利用者数	30.5 名	31.5 名	31.5 名
利 用 率	95.3%	98.4%	98.4%
延べ入院日数	545 日	96 日	195 日
延べ外泊日数	100 日	42 日	23 日

○介護給付費の状況（単位：円）

科 目	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	前年比
介護給付費収入	173,308,947	184,386,761	187,252,445	101.6%
利用者負担金収入	15,410,306	15,505,664	16,170,623	104.3%
合 計	188,719,253	199,892,425	203,423,068	101.8%

(2) 通所生活介護・通所介護

①利用実績

- ・ 生活介護では、延べ利用者数が平成 30 年度減少傾向にあったが、2 名の新規利用者受け入れや現利用者の利用回数の見直しを行った結果、令和元年度下半期から増加傾向となった。（上半期 1 日平均 16.8 名、下半期 18.8 名）
- ・ 通所介護は 2 名の方が退所されたことと、障害福祉サービスからの移行者がいなかったこともあり、延べ利用者数が 79 名の減少となった。

○生活介護

【利用実績】

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	対前年比
開所日数	267 日	266 日	265 日	-1 日
延べ利用人数	5,147 名	4,668 名	4,733 名	+65 名
1 日平均利用者数	19.2 名	17.5 名	17.8 名	+0.3 名
登録利用者数	31 名	28 名	30 名	+2 名

【介護給付費】

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	対前年比
介護給付費	73,089,140	68,744,540	74,365,784	108%
利用者負担金	1,066,100	888,280	973,566	109%
合 計	74,155,240	69,632,820	75,339,350	108%

○通所介護

【利用実績】

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	対前年比
開所日数	251 日	251 日	251 日	±0
延べ利用人数	1,412 名	1,662 名	1,583 名	-79 名
1 日平均利用者数	5.6 名	6.6 名	6.3 名	-0.3 名
登録利用者数	8 名	11 名	9 名	-2 名

【介護給付費】

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	対前年比
介護給付費	6,841,766	7,559,658	7,357,755	97%
利用者負担金	978,761	1,070,354	1,168,099	109%
合 計	7,820,527	8,630,012	8,525,854	98%

(3) 居宅介護

①利用実績

- ・ 居宅介護は、新規利用者の派遣開始により増収となった。重度訪問介護、同行援護は利用者の増減等はなく、ほぼ前年並みの収入であった。外出介護については、コロナウイルス感染防止のため、2 月、3 月については利用者の方に不要な外出を控えて頂いたことで若干の減収となった。訪問介護は利用者の増減はなかったが、年間約 400 万円の増収となった。

【介護給付費】

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	対前年比
居宅介護	85,451,070	81,182,690	91,869,959	113%
重度訪問介護	23,064,360	25,685,200	25,670,110	99%
同行援護	878,930	974,570	1,057,770	108%
外出介護	3,488,260	3,121,310	2,598,480	83%
訪問介護	12,416,622	15,231,395	19,086,455	125%
合 計	125,299,242	126,195,165	140,282,774	111%

(4) BE・FREE、Be Fine

- ・ BE・FREE では、1 月より県立支援学校の 3 年生がご本人、ご家族の希望により入居された。これまで、高校生の受け入れはなく、初めての取組みであったが、卒業までの間、早朝

のヘルパー派遣や通学支援を行い、無事卒業を迎えることができた。

- ・ 昨年度に引き続き、BE・FREE、Be Fine 入居者のうち、希望者に対して理学療法士による訪問リハビリを実施した。

(5) 相談サポートまほろば

①利用実績

- ・ 新規利用者 33 名と契約し、登録利用者数は 214 名となった。計画の更新時期の管理等を徹底してきた結果、効率的に業務を遂行することができ、計画作成、モニタリングの件数が 161 件増え、収入も約 250 万円の増収となった。

一般相談については、在宅生活支援に関する相談をはじめ、年間 1,095 件の相談に対応してきた。

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	対前年比
計画作成	151 件	142 件	161 件	+19 件
モニタリング	177 件	210 件	352 件	+142 件
計	328 件	352 件	513 件	+161 件

【計画相談支援給付費】

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	対前年比
給 付 費	4,817,220	5,040,550	7,595,000	150%

(6) 自立生活援助事業

①利用実績

- ・ 令和元年 8 月 1 日に事業所指定を受け、現在 3 名の方が利用されている。主に、買い物同行や各種手続き代行、日常生活の相談等の支援を行った。今後も、地域で安心して自立した生活が送れるようサポートしていきたい。

3. 防災関係

6 月と 9 月の 2 回総合防災訓練を実施した。いずれも火災発生時の避難訓練で、うち 1 回は夜間を想定しての訓練を実施した。その他、AED 操作訓練や救命救急法研修の出前講座、BCP 研修、非常用発電機の操作訓練等を実施した。

4. 研修関係

①施設内研修 (5 回)

車両管理研修、救命救急法、BCP (事業継続研修) 研修、口腔ケアに関する研修、虐待防止・権利擁護研修。

②施設外研修

宮崎県社会福祉研修センター主催研修、九州障害者支援施設協議会主催研修、宮崎県障害者支援施設協議会主催研修等。

5. 決算書 (別添)

令和元年度 さくら館 事業報告書

1. 概要

生活介護、居宅介護とも前年をわずかに上回り、給付費収入合計が30年度比で2%の増となる見込みである。居宅介護に関しては、シェアハウスあさがおが7月にオープンした。

【報酬等総額】

科 目	事 業 名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度比
介護給付費	生活介護事業	90,392,916	97,652,003	98,604,980	100%
	居宅介護事業	104,193,495	109,288,360	113,100,870	103%
利用者負担金収入	生活介護事業	1,905,984	1,728,581	1,612,940	93%
	居宅介護事業	4,110,671	4,027,735	3,868,620	96%
合 計		200,603,066	212,696,679	217,187,410	102%

【諸経費支出実績】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	前年度比
コピー使用料	316,388	225,274	325,209	144%
電気料金	2,015,694	1,872,848	1,850,241	98%
ガス料金	1,065,680	1,182,460	1,092,660	92%
水道料金	1,173,688	1,060,392	1,037,882	97%
食材料費	3,063,132	2,839,507	2,572,864	90%
ガソリン	2,297,223	2,185,481	2,127,769	97%
合 計	9,615,417	9,365,962	9,006,625	96%

2. 生活介護事業

- ・長期入院から施設入所された方が3名。亡くなられた方が1名の4名が退所し、新規契約利用者が3名であった。3月に入り、新型コロナによる長期欠席者が3名いた。営業日が1日減で、利用者数は1名増の5,879人であった。利用率は上がり増収になったのは、特定処遇改善加算が大きく影響した結果といえる。
- ・昨年度よりも4日多い、年間16日の祝日営業を行い、88名増の336名を受け入れることが出来た。
- ・園外活動を年間で、6回行った。事故防止の観点から、実施計画書の作成、職員の反省会や利用者ミーティングを行い、実施報告書から改善点などを抽出し、次の園外活動に繋げるようにした。
- ・生活介護支援員を居宅介護従業者として、常勤兼務とした。生活介護の勤務表と居宅介護のスケジュールで、兼務派遣を管理・調整することが出来た。

【利用実績】生活介護事業

年 度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
1日平均利用者数	22.6名	23.1名	23.2名
定員20名に対する利用率	113.0%	115.7%	116.1%
延べ利用者数	5,698名	5,878名	5,879名

3. 居宅介護事業

- ・シェアハウスあさがおを7月にオープンした。物件は、くろーばーの前にある『デイサービス時』の建物を賃貸契約し住環境の改修工事を行った。
- ・シェアハウスくろーばーは、大塚台から跡江に拠点を移し、令和2年6月で、3年を迎えた。大塚台からは、通算9年目。長期入院や欠員等もなく運営できている。利用者間の対人関係も良好である。
- ・シェアハウスひまわりは、平成25年11月オープンから6年を経過した。7月に新しく入居された方が、8月に体調が急変し救急搬送された。病院で療養をしていたが12月に亡くなった。
- ・令和元年度は、くろーばーとひまわり、あさがおの利用者ミーティングを定期的に行い、意見・要望を積極的に取り入れた。
- ・ヘルパーミーティングやシェアハウス支援者会議を定期的に行い、積極的にSNS等も取り入れ、タイムリーな情報の発信、受信、情報の共有に努めた。
- ・あさがおが跡江地区にオープンしたことで、人手が跡江を拠点に集中し、夕方の派遣から別なシェアハウスへの夜勤に入るシフトが定着した。ヘルパーの労働時間の確保や派遣の偏りの改善も図れた。
- ・喀痰吸引等研修第三号研修の研修機関の指定を受け、介護職員23名の受講を行った。令和2年1月には、認定特定行為業務従事者認定証を県より交付された。これにより、シェアハウスあさがおに、胃ろうの利用者を受け入れた。医療職以外の方が喀痰吸引や経管栄養を行うことで、重度の障がいがある人の生活の幅が広がり、「どこで誰と生活するか」について選択する機会を広げることが出来た。

【利用者実人数】居宅介護・重度訪問介護事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
H30	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14	14
R1	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13

【契約利用者数】外出介護事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
H30	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
R1	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13

4. 訪問介護事業

- ・利用者の増減はなかった。
- ・高齢化、重度化によりコミュニケーションが取りにくくなる利用者が増加している。介護支援そのものより意思疎通に時間を要するようになり、伝わらない苛立ちや意欲の低下がみられ、外出などで気分転換できるよう支援に取り組んだ。

5. 年間報告一覧表(次ページへ)

- ・行事関係
- ・防災訓練関係
- ・職員研修関係

令和元年度 さくら館行事関係 イベント関係

4月1日・2日 4月5日	花見ドライブ 館内BBQ	10月15日 10月25日	ミニコンサート(今村先生) さくら館運動会
5月20日 5月30日	宮崎ブーゲンビリア空港/ デモン・デ・マルシェ さくら館中華バイキング	11月11日 11月26日	宮崎市街地ぶらり旅 お寿司バイキング(スシロー)
6月18日	ラウンドワン/宮交シティ	12月6日 12月9日 12月14日 12月25日	利用者忘年会 鍋パーティー クリスマスピザ 餅つき
7月5日 7月25日	そうめん流し フローランテ宮崎/シェラトン	令和2年 1月9日 1月31日	初詣(江平神社) 手打ちうどん(空海)
8月9日 8月23日	さくら館スイカ割り大会 納涼祭	2月6日 2月21日	芋煮会 温泉(妻湯)
9月5日 9月12日	豊年踊り お月見会	3月	活動自粛

令和元年度 防災訓練関係

4月12日	消火・避難訓練(飛鳥防災)	10月18日	インフルエンザ講話(看護師)
5月13日	防災講話(防火管理者:横山所長)	11月7日 11月19日	消防機器操訓練(飛鳥防災) 避難訓練(生目の杜)
6月4日	地震講話(消防署指導)	12月17日	防災訓練振り返り
7月11日	AED操作訓練(ALSOK)	2月14日	災害用伝言ダイヤルの活用 について
8月20日	台風対策講習会	3月9日	新型コロナウイルス対策

9月 9日	地震対策 DVD 講習会		
-------	--------------	--	--

令和元年度 研修受講状況

5月16日	交通安全マナー講座				
5月17日	同行援護研修	11月1/2日	相談支援		
5月22日	福祉の基礎知識習得			11月5日	労働災害防止
5月23日	新任職員研修			11月13日	ターミナルケア
5月24日	同行援護研修			11月20/21日	福祉職員キャリアパス対応
6月1日	認知ケア	11月26日	虐待防止		
6月6日	問題解決能力スキルアップ	11月29日	苦情解決セミナー		
6月21日	発達障がい者				
7月3/4日	記録技術基礎研修	12月3日	サービス管理責任者講習		
8月8日	防災士育成	12月4日	ホームヘルパー		
8月21日	コーチング	12月6日	虐待防止		
9月5/6日	防災管理者	1月10/11日	サービス管理責任者講習		
9月11日	福祉職員の医学知識	1月30/31日	BCP 事業継続計画		
9月19日	集団指導	2月1日	高次機能障害		
9月20日	虐待防止	2月14日	ミーティングのすすめ方		
9月27日	防災士育成	2月19日	障がい者理解とコミュニケーション 研修		
10月2/3日	相談支援	2月21/22日	消防士育成		
10月4/5日	有償運送	3月22日	虐待防止員会		
10月16日	安全運転管理講習・法人職				
10月17日	員全体研修				
10月21日	身体拘束や高齢者虐待・介護保 険集団指導				
10月23日	管理者虐待防止・虐待防止				

令和元年度 天領の杜 事業報告書

1. 概要

- 生活介護、外出介護については、前年度を下回ったが、給付費合計は横ばいであった。
- ホーム入居者の長期入院や医療行為が必要となり退居されたことで、居宅介護、生活介護ともに、大きく給付費に影響があり、利用者の皆様の健康管理についても考えさせられた1年であった。

給付費収入一覧

単位：円

サービス種類	給 付 費						前年比
	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		
生活介護	給付費	55,086,372	給付費	57,951,327	給付費	57,079,396	98%
	利用者負担金	1,230,418	利用者負担金	1,241,523	利用者負担金	992,344	79%
居宅介護	111,701,210 (5,793,230)		110,142,240 (5,022,700)		111,532,250 (7,766,630)		101%
外出介護	給付費	4,200,330	給付費	5,034,120	給付費	4,646,870	92%
	利用者負担金	376,300	利用者負担金	414,950	利用者負担金	355,700	85%
訪問介護	給付費	8,710,237 (7,067,710)	給付費	16,719,102 (13,886,639)	給付費	19,181,725 (15,353,809)	114%
	利用者負担金	955,999	利用者負担金	1,815,638	利用者負担金	2,093,885	115%
合 計	182,260,866		193,318,900		195,882,170		101%

* () はともしび入居者分の給付費

2. 生活介護事業

- 生活介護利用実績は下表のとおりである。
- 延人数が161人減であった。原因としては、長期入院の方が2名おられたのと、退所者が4名おられた事が考えられる。また、インフルエンザに5名の利用者が罹患され、縮小して営業を行った。
- 新規利用者は5名増えたが、毎日利用では無い方がほとんどだった為、延べ人数も伸びなかった。
- 生産活動については、販売できるほどの収穫が出来なかったが、昼食での提供やホーム入居者の方へ調理して食べていただいた。
- 各月、園外行事や、充実した食事の提供が出来たが、新型コロナウイルス感染症対策にて行事等の自粛により、身近なことでの楽しみ方の工夫をし、食を中心としたイベントを考え焼肉や握り寿司等の提供を行った。

	29 年度	30 年度	元年度
1 日の平均利用者数	15.0 人	15.1 人	14.6 人
開所日数	268 日	265 日	263 日
延べ利用人数	4,036 人	3,999 人	3,838 人

園外活動・イベント

4月	(2日)お花見～天ヶ城 (16日・25日)イオン	10月	(15日)サンクマール (24日)運動会(雨天の為、施設内にて実施)
5月	(9日)宮崎駅散策 (14日)酒泉の杜 (28日)イオン	11月	(7日)ママンマルシェ高鍋 (28日)イオン
6月	(4日)宮崎空港 (18日)イオン	12月	(12日)イオン (24日)クリスマス会
7月	(16日)宮交シティ (30日)ママンマルシェ高鍋	1月	(7日)綾神社、酒泉の杜 (23日)レマン
8月	(8日)夾竹園 (20日)イオン (23日)納涼祭	2月	(13日)のじりこぴあ (27日)しまむら
9月	(10日)イオン (19日)酒泉の杜	3月	外出自粛のため中止

3. 居宅介護・重度訪問介護・訪問介護事業

- ・ 転倒や癌で長期の入院された利用者もおられ、退院後の身体機能が低下し、週間計画の変更に伴い、支援内容も変わり、職員、ヘルパー間での情報の共有を図ることが出来た。
- ・ ヘルパー派遣については、登録ヘルパーと兼務職員とで協力体制の下、利用者の方々に不安のない生活が送れるような支援体制の継続に努めた。
- ・ 介護保険への移行の方が2名居られ、ケアマネージャー、相談支援員と連携しながらスムーズな移行が出来た。
- ・ 毎月のヘルパー会議の実施と、ヘルパー研修も外部講師に依頼して5回実施。また個別での研修計画し、介護労働安定センターの研修に1名が参加。他のヘルパーの研修も予定していたが、新型コロナウイルス感染対策にて、研修が中止となった。

4. 福祉ホーム事業

- ・ 入居者間で、声の大きい入居者の方のことで苦情があり、防音の壁の工事を予定。快適な居住の場の提供を継続させたい。
 - ・ 入居者、ヘルパーとの懇親会を実施し、普段の支援についての話などが出来た。今後も計画的に実施していきたい。
- ・ インフルエンザに喜楽家2名、天領の杜で1名の方が罹患されたが、各部屋での隔離を行い、感染拡大防止に努めた。
- ・ 喜楽家は2名退居された。1名は、介護保険へ移行され、ともしびへ入居。1名は医療行為が必要となり退居となった。

5. 研修関係

5月	・介護技術～移乗
6月	・接遇マナー ・タイムマネジメント研修 ・チーム力を高めるコミュニケーション研修～中堅職員編
7月	・福祉施設における食の安全・安心研修 ・問題解決能力スキルアップ研修 ・チーム力を高めるコミュニケーション研修～チームリーダー編 ・安全運転管理者講習 ・AED研修
8月	・職務を通じて部下を育てるOJT研修
9月	・コミュニケーション研修
10月	・障がい者虐待防止・権利擁護研修
11月	・苦情解決セミナー
12月	・チームビルディングのためのリーダーシップ研修
1月	・チームをまとめる中堅職員メンバーシップ研修
2月	・介護技術～移動・移乗～

6. 決算状況

別添決算資料参照

令和元年度住宅型有料老人ホーム みんなの家ともしび事業報告

1. 概要

高齢障がい者を入居対象としたともしびは、今年度2名が退居された。

その都度、待機者に意向を確認したが、様々な理由で入居には至らず、3月末で2部屋の空室となっている。

また、入居者やそのご家族が、馴染みのある通所介護の利用を希望されるため、今後、訪問介護の報酬が減収になってくると思われる。

2. 事業の状況

●入居者状況（定員10名）

項目	年度	平成30年度	令和1年度
	1日平均入居者数		7.88人
入居率		78.8%	87.7%
延べ人数		2,878人	3,211人

・4月1名入居 ・10月1名逝去 ・12月1名他施設へ入居

3. 事業収入の状況

●居宅介護給付費・介護報酬

科目	年度	平成30年度	令和1年度	前年比
	事業名			
居宅介護給付費	天領の杜	5,022,700	7,766,630	154.6%
介護報酬	天領の杜訪問介護	13,820,418	17,022,370	123.1%
合計		18,843,118	24,789,000	131.5%

ともしびの入居者分を記載

4. 研修の受講状況

R1.7.12	「国富町有料老人ホーム研修」
R1.7.22	「苦情解決セミナー」
R1.7.25	「問題解決能力 スキルアップ研修」
R1.7.31	「感染症研修」
R1.12.9	「高齢者虐待防止研修」
R2.2.13	「健康づくり担当者研修」
R2.2.20	「チームビルディング研修」

5. 避難訓練・点検

月	実施内容	月	実施内容
4月	消火器点検	10月	総合訓練
5月	保守点検	11月	防災設備点検・避難訓練
6月	消防署立ち入り検査・避難訓練	12月	夜間想定訓練
7月	防災設備点検・AED操作訓練	1月	防災設備点検
8月	—	2月	防災設備点検
9月	防災設備点検	3月	防災設備点検

天領の杜と合同で実施

6. 健康管理

- ・ 職員の健康診断を8月に実施した。
- ・ インフルエンザの流行時期に備え、11月に職員への予防接種を実施した。

7. 感染症対策

- ・ 毎日の清掃・換気・消毒を実施し、食中毒やインフルエンザの感染予防に努めたが、12月に入居者1名がインフルエンザに感染した。
また、感染拡大も想定できたことから、嘱託医に相談し、職員・ヘルパーは予防薬としてタミフルを服用した。その他の入居者は通所介護等の自粛や通院以外の外出等を中止した。

8. 計画年休

- ・ 年5日の年休取得が義務化されたことで、職員同士が気兼ねなく年休を取得できるように勤務体制を整えることができた。

9. 決算書（別添）